



No. 3

令和7年6月13日
那珂市立ひまわり幼稚園
担任 秋山 雅子

ほし組だより

ほし組の子供たちは、親子遠足に行った再現遊びや忍者になりきって遊ぶことを楽しんでいます。友達とアイデアを出し合ったり一緒に協力しながら作ったりする姿が見られています。これからも、遊びや生活を通して友達と協力する楽しさを感じていけるよう、関わっていききたいと思います。



<ほしぐみどうぶつえん！>

親子遠足で行ったかみね動物園で、ヤギに餌をあげたことが楽しかった子が多かった子供たち。「ヤギに餌をまたあげたいね」との会話からヤギ作りが始まりました。足がなかなかつかずに悪戦苦闘。「大変～。ヤギの足が骨折しちゃったよ」と、ハプニングもありましたが、友達と協力しながら完成することができました。



ヤギの名前は「げんきちゃん」どうしてその名前になったか聞いてみると「だって～げんきがいいヤギだから」と教えてくれました。

「僕が『ね』を書くね」「僕は『ど』を書くね」と言いながら協力して看板作りをしていました。



<菅谷保育所のお友達が遊びにきてくれました>

交流会を楽しみにしていた子供たちは看板を作ったり、歓迎の言葉を考えたりしました。当日は同じ小学校に行くグループの友達と自己紹介をしたり、ふれあい遊びや戸外遊びをしたりしました。「お友達の名前を覚えたよ」「また遊ぼうね」と次の交流会を今から楽しみにしています。



<忍者ごっこ>

忍者の曲をかけておくと黒のポリ袋をハサミで切って衣装作りが始まりました。「忍者が隠れる所を作ろう」「水の中をもぐろうよ」「強い忍者になるように修行をしよう」など、いろいろな意見が出て友達と協力しながら作っています。



「ねずみ色がつくりたいのに絵の具がないね」
「どうしよう」
「白と黒を混ぜてみようよ」
「できたね」

「忍者は何を投げるの？」
「手裏剣とか剣とか、くないを投げるよ」
「そうなんだ」
「ここに手裏剣とか描こうよ」
「いいね。そうしよう。」



ゴムに触らないように歩こう



水の中ででんぐり返しの術